



幼い子どもの転落死亡事故 水路の安全向上を

子どもの水路転落死亡事故を受け、福山市は7日に有識者や地元関係者などが参加する事故防止対策検討会を開きました。第1回目の会合を傍聴しました(写真は検討会での現地視察)。

昨年11月2日、緑町公園ぞいの水路に未就学の男の子が転落し、死亡するといった悲しい事故がおきました。市の報告によると、水路は幅・高さともに2メートルで水深は1・4メートルあります。水路ぞいには生垣が植えられていますが、「転落は樋門と生垣の間の隙間からと判断される」とのことです。市は、事故後の26日にフ

インスを樋門付近に設置し、1月16日には水路ぞいの全延長188メートルに設置しました。 悲惨な事故をくりかえすな 検討会では、同じ水路でおきた過去の事故についても報告されました。 2006年には小学校1年生が転落死亡しており、その際は「転落箇所等の詳

細な状況は不明」ながら「生垣の一部に隙間があったことから生垣の補植を行い、隙間を閉塞」しています。しかし、現時点の生垣には隙間ができています。隙間ができないよう継続的に管理し、フェンスの設置も早く検討すべきではなかったか。市の対策が適切だったのが問われます。



人が通り抜けられるほどの生垣の隙間(2月7日)

生活環境の安全対策こそ 日本共産党は、これまで水路転落事故をなくすために議会で何度も対策を求めてきましたが、さらなる強化が求められます。 新たな大型道路に多額の税金を使うよりも生活環境の安全向上こそ。日本共産党は県議や市議を先頭に力をあわせて頑張ります。

「戦争イヤだ」の声ひろげよう 岸田政権は「敵基地攻撃能力」など強力な軍力をもとうとしています。6日の国会質疑では、日本が攻撃を受けていないのに「集団的自衛権」で敵基地を攻撃し、相手国から報復を受けた場合、日本に大規模な被害が生じる可能性を防衛相が認めました。まさに戦争か平和か、今がわかれみちです。県議選にむけ奮闘する河村ひろ子氏のリーフや9条改憲ストップの会の憲法チラシができています。ぜひ活用してください。 084-952-2662(日本共産党事務所)

市民要求懇談会 日本共産党市議団の「市民要求懇談会」が開かれます。 3月議会は新年度予算の審議もあります。要求や困り事などを出しあい、市政の改善につなげましょう。お気軽にご参加ください。 ●2月17日(金) 午後1時30分から 市役所議会棟2階受付

「戦争イヤだ」の声ひろげよう 河村ひろ子 本共産党 河村ひろ子 切実な声を政治に届ける。 084-965-6049 084-962-1928

3月福山市議会の日程 傍聴にお越しく下さい

2月	16日	木	常任委員会	
	20日	月	議会運営委員会	
	21日	火	都市整備特別委員会	
	27日	月	本会議	
				議会運営委員会
3月	2日	木	本会議(代表質問・一般質問)	
	6日	月		
	7日	火		
	8日	水		
	9日	木		
	10日	金		
	13日	月		常任委員会
	14日	火		予算特別委員会
15日	水			
16日	木			
17日	金			
	22日	水	議会運営委員会・本会議(午後1時)	